生徒主体の過ごしやすい環境づくり

生徒会活動

Mission Standard 2030

2・3年生9人で構成される生徒会では、行事の企画・運営や学校生活をよりよくするための活動を行っています。



行事の準備・運営



生徒会企画のイベント



生活のルールづくり

タブレット使用のルール決めも生徒会が行いました



INTERVIEW



生徒会長
3年 荒川 翼 さん

みんなをまとめる観察型リーダー。先生からの薦めで会長に立候補した。卓球部部長も務め、大会に向けて日々練習に励んでいる。



生徒副会長
2年 村井 遥香 さん

会長も引っ張るパワフルサブリーダー。箏曲部所属。琴に触れるのは初めてだったが、新しい挑戦に達成感とやりがいを感じている。



生徒会書記
2年 林 こと さん

記録係にとどまらないアイデアマン。ハンドベル部の傍らバイオリンを習っており、ジュニアオーケストラに所属している。

Q. 生徒会の特徴を教えてください！

荒川・村井・林： みんなが個性的です！

荒川： いろいろな長所を持ったメンバーが揃う中で、一人ひとりの意見を大切に生徒会長として話をまとめています。生徒会全員が一丸となってみんなが過ごしやすい学校を目指しています。

林： 学年関係なく、意見を言い合えるメンバーです。発想も面白いものが多く、これまでの先輩方の意思を受け継ぎながらも、行事プログラムの間にダンスを入れるなど新しいことも取り入れています。

村井： みんな積極性と想像力に優れていて、協力し合える頼もしい仲間です。

Q. これまでの活動で印象に残っていることは何ですか？

村井： 「3年生を送る会」の準備では、限られた予算の中で華やかなステージを作りました。桜の枝のイメージを取り入れた花畑のようなステージを完成させたときの感動は今でも覚えています！

林： 生徒会として初めて企画した「ウィンターフェスティバル」です。緊張しましたが、すぐに打ち解けて意見も出せるようになりました。飾り付けを先生に褒めていただけたのがうれしかったです。

荒川： 僕はこれまでの行事の準備すべてですね。各自の担当作業だけでなく、周りのことも気にかけながら臨機応変に対応する仲間の姿が素敵だと感じます。

Q. 生徒会活動を通して、どんなところが成長しましたか？

林： 生徒総会でルール変更についての要望書を出したときに、全校生徒にその意図を理解してもらえず、賛同を得られませんでした。多く人の賛成を得るためには、もっとさまざまな角度から物事を判断する必要があることを学びました。

村井： 判断力が上がったと思います。どんな時でも頼れる仲間がいることで、今まで以上に冷静な判断ができるようになりました。

荒川： 自分から行動できるようになりました。今までは周りで支える立場でしたが、生徒会長になってからは、どうすれば全校生徒を巻き込めるかを考えるようになりました。これからも学年を超えて盛り上げていきます！

